

五十嵐ゆうこの米國小売業最新レポート

2020年10月09日

Amazon Prime Day Shopping Bonanza

AmazonのPrime Memberに加入している方には、毎年7月中旬に開催される年に一度の会員限定の特別割引セールPrime Dayは一大イベントです。

しかし本年度は新型コロナウイルス感染の影響でその予定が3か月延期となり、10月13日から2日間（48時間）の開催となりました。

そしてPrime Salesがスタートする2週間前の9月29日からPrime Dayセールが終了する10月14日までの期間でAmazon傘下の実店舗であるWhole Foods、Amazon Fresh、Amazon Goなどの食料品店とAmazon Book、さらにAmazonにて5点満点の顧客評価で4点以上の評価を得た人気商品を集めた小売店のAmazon 4-Star、一定期間だけ出店するAmazon Pop Upにて\$10以上の買い物毎にPrime Dayで使用できる\$10のクレジットポイントを最大で\$50までゲットできます。

Amazonのアプリを利用し注文するオンラインでのグロサリーショッピング&宅配でもこのプロモーションに参加可能です。



▲店内で\$10利用、\$10分のクーポンゲットの広告

3月のロックダウン前後には、主に Whole Foods などの実店舗の売上は食品や生活必需品の需要が急増し、第一四半期の売上は前年比より 8%増加しました。

6月末に終了した第二四半期はオンラインでの食料品の売上は今年の 3 倍増えましたが、実店舗の売り上げは 13%の減少となりました。

この数字は感染を恐れ、実店舗へ買い物に来る客が減った事と比較的収益の高いセルフ総菜とグロサラント（店舗が展開するレストラン）の営業が出来なくなった事が要因とされています。

8月中旬頃から新規感染者と入院患者数が減少しているカリフォルニアでは、未だレストランの営業に規制はかかっていますが、外食や小売店に訪れて買い物を行う人は徐々に増え、Amazon Prime とのプロモーションがスタートしてから Whole Foods の実店舗でも客足が増加しています。

現在、米国内で展開している Amazon の実店舗は Whole Foods Market で 487 店舗、Amazon Fresh で 1 店舗、Amazon Go Grocery で 2 店舗、Amazon Go(キャッシュレスのコンビニタイプストア)で 26 店舗（一時的に 5 店舗は閉鎖中）Amazon Book Stores で 23 店舗、Amazon 4-star で 25 店舗（一時的に 1 店舗は閉鎖中）そして Amazon Pop-Up で 7 か所(一時的に 1 店舗は閉鎖中)が展開しています。

\$119 の年会費に税金を加算すると、合計約\$130 の年会費を支払っているメンバーにとって買い物の仕方次第では、この年会費の負担を忘れてしまうほどのビッグセールです。

今年はクリスマスまで残り約 2 か月であることと最大で\$50 もポイントクレジットを使用可能な要因も重なって、このタイミングでクリスマスギフトを先買いする方も多いかと思います。

ちなみに Bank of America のグローバル調査機関が 16 歳～65 歳の米国人 1000 人を対象に行った Prime Member の加入状況の直近調査では、今年の 68% から増加し全体の 74%が加入していると発表しています。

更に Prime Member は推定で\$1,968 を年間に利用しており、これは非会員の約 4 倍近い金額だそうです。

先週の Amazon Fresh で初めての買い物体験レポートの続きですが、お買い物の最後に精肉売り場で問題が発生しました。



この日はサーロインとフィレの2種類の部位が楽しめる T ボーンステーキ肉がセール品でしたので、大ぶりなお肉を3枚購入しました。

総重量が3.7ポンド約1700グラムの肉を精肉売り場のスタッフが肉汁漏れ防止用に厚めのプラスチック袋で二重に包んでくれました。

Dash Cart に入れスキャンをしたのですが、何と画面上に表示されたのは肉そのものではなく、Amazon Fresh が最初に設置したエコバック3.7ポンド分の料金が機械にチャージされていました。

厚手のプラスチック袋がバーコード読み取りの障害となり、エコバックのバーコードを誤って読み取り、なぜか重さでチャージされてしまったのです。

Dash Cart 専用レーンでスタッフが気付き、ビニールを外し正しくスキャンしてくれましたが当初の精肉売り場ではプラスチック袋が誤作動の原因とは気づかなかったようです。

残念ながら、一連の流れの撮影は原則的に禁止で、またあまりにも周囲に他スタッフが多く集まっていたので断念しました。

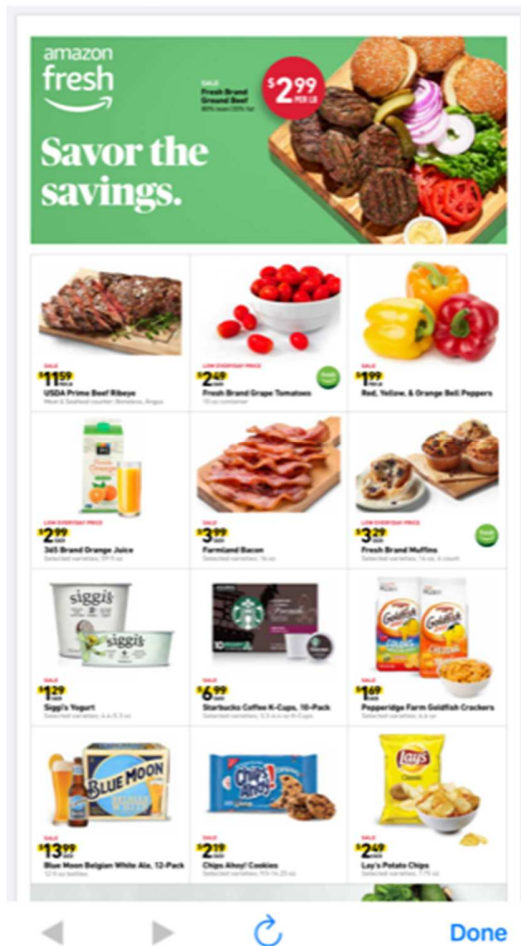
そして先日の買い物時にプレゼントされた\$10 オフのクーポンを使用する目的と Amazon Prime の\$10 のクレジットポイントをゲットするために再び Amazon Fresh を訪れました。

今回は高級リブステーキがキロ当たり\$12 も安かったので、前回の T ボーンと合わせてアプリで事前に肉の注文をしました。

1:43

5G

m.media-amazon.com



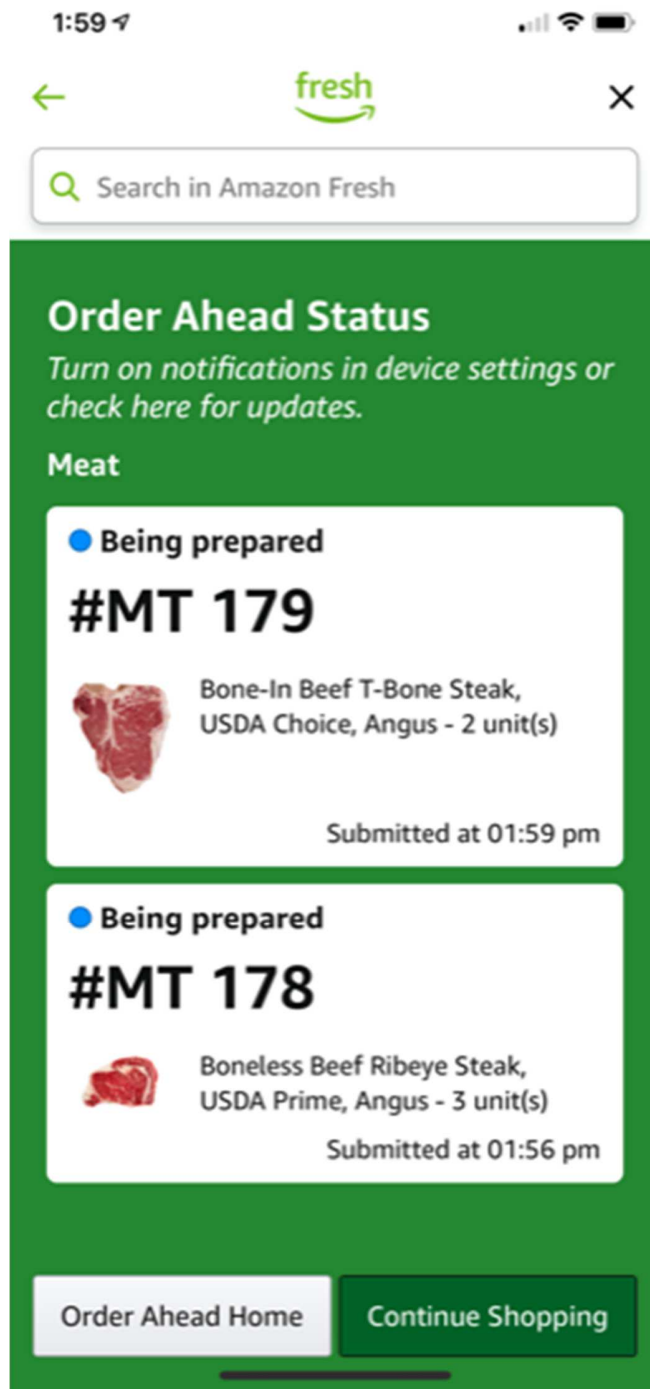
▲お得なセール品は Web でいつもチェックできます。

アプリ上には予約コード MT178 で“準備中”との表示でした。ですが、なんとということでしょう。

店舗に到着後、目当てのリブステーキは既に売り切れており精肉売り場のスタッフ曰く、“品切れの場合は事前購入ができないことになっている”とのことでした。

私は勿論大人の対応をしましたが、このお肉を楽しみに来店されたお客さんによってはお怒りになる方もいるだろうと思いました。

アプリでの購入は未だ解決していかなければならない課題も多いのかしら。



▲アプリでお肉の注文時の画像。Being prepared=準備中と表示されている。

出口に向かって左奥には Amazon のピックアップ&リターン（返却）のカウンターがあり、その横が一部 Amazon 4Star で販売されている顧客の評価が高い商品が陳列されています。



▲Dash Cart のリターンレーン

棚に置かれている商品は前回と入れ替わっていたので頻繁にアップデートされているようです。

料理の本、キッチンアイテム、そしてちょっとした小物まで揃っており、なかなか興味をそそられる陳列のスタイルに顧客データを熟知している Amazonらしさを感じます。





▲Amazon 4star の売り場

現在、時間があっても旅行にもなかなか行けず、友達の多くはリモートでしか会えませんし、外食は屋外席など限られた場所でしか出来ないのも、もっばらの楽しみと言えは買い物です。

気に入らなければお手軽に返却できる事もあり、個人的にこの自粛期間中に Amazon での買い物は、マスクなどの必需品からキッチンアイテム、化粧品や寝具に至るまでかなりの数になると思います。

そして今月中旬にある Prime Day では既に\$40 もクレジットポイントをゲットしているので、指折り数えながら次回のお買い物を楽しみにしております。